

広島工業大学コラボモデル「 vase 一ベイスー 」

コロナ禍でステイホームが定着し、自宅内での過ごし方や楽しみ方に目を向ける事が増えた昨今。
アフターコロナモデル“vase”は、家族とのコミュニケーション・気分転換・在宅ワーク・感染対策etc...
お家時間を快適に過ごせる工夫の詰まった、時代に寄り添った住宅です。



concept



エントランス&テラス

エントランス ⇄ 土間テラス ⇄ テラスへと直結の導線で可変度もアップ！



土間テラス

LDKと続き間のこのスペースはお子様の遊び場としても趣味を楽しむ空間としても活躍します。



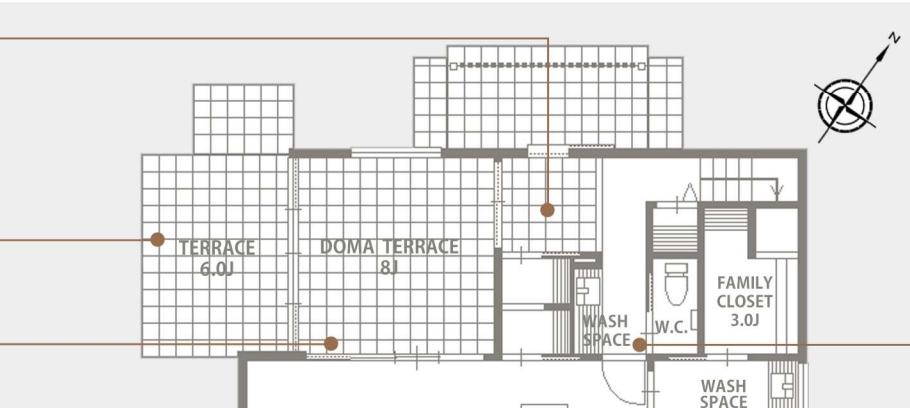
LDK

16畳のLDKは陽の光があたたかな空間に。隣接する土間テラスを含めると24畳の大空間！



子ども部屋

子ども部屋は将来間仕切ることのできるタイプ！成長に合わせた空間づくりが出来ます。



floor plan
1

1

floor plan
2

2

1・2F CH=2525mm
敷地面積 188.93m² 57.15坪
建築面積 75.32m² 22.78坪
延べ面積 124.17m² 37.56坪



外観

グレーを基調としたシンプルモダンの外観。
無駄のないスッキリとした雰囲気に。



おかえり洗面

家に帰ってからすぐに手洗いうがいができるよう玄関から洗面へ直結できる導線により衛生的に。



ダイニング&キッチン

キッチンは下げ天井×間接照明でかっこよく。
玄関からの導線も○



寝室&書斎

寝室は約6畳の落ち着いた雰囲気に。
隣接する書斎でリモートワークも出来ちゃいます。

variability
(可変性)

「今」必要な間取りではなく
「ずっと」必要とされる空間。
家族の団らん、夫婦時間、子供の成長
趣味、友人との交流など様々な用途に
対応し様々なシーンを生み出す可変性
のある住宅

sense of unity
(一体感)

家族のプライバートを保しながら
互いに意識しあえる空間。

「おはよう・行ってきます」と1日が始まり
「ただいま・おやすみ」と1日が終わる
会話がお家の中で流れ空間(space)を
共有(share)することで一体感が生まれる

Design
Hiroshima Institute Technology

Kotaro Kumai
Kiyo Konishi
Sanshiro Shidara
Yusaku Maeno

